

## 第24回夏季デフリンピック競技大会 陸上競技選手権大会

### 日本代表選手選考 要項

#### 1. 編成方針

第24回夏季デフリンピック競技大会は、日本デフ陸上競技界にとって歴史を画する大会であり、障がい者陸上競技に携わる人々と国民の期待を背に、個人やリレーなどで最大限の力を発揮できることが重要である。この点を踏まえ、より多くのメダルや入賞を獲得できることを目標とし、この目標を達成するために、（一社）日本デフ陸上競技協会（以下、当協会とする）の戦略のもと、メダル獲得及び8位入賞を目指す競技者を一人でも多く派遣する。

#### 2. 開催地（予定）

ブラジル カシアス・ド・スル

#### 3. 開催期間（予定）

2021年 12月5日（土）～12月21日（月）

#### 4. 開催種目（予定）

##### （1）男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、4×100mリレー、4×400mリレー

##### （2）女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、4×100mリレー、4×400mリレー

##### （3）混合

4×400m リレー

##### （4）男女フルマラソン

#### 5. 主なスケジュール

##### 2020年

10月2日（金）～10月4日（日） 第17回日本デフ陸上競技選手権大会  
（以下、第17回日デフ陸選とする）（第1次選考競技会）

12月末 予備エントリー提出

##### 2021年

5月未定 第18回日本デフ陸上競技選手権大会  
（以下、第18回日デフ陸選とする）（最終選考会）

6月上旬（予定） 最終エントリー提出

9月末（予定） 日本代表内定選手発表

エントリー提出

#### 6. 選考競技会

（1）第17回日本デフ陸上競技選手権大会（2020／東京）（1次選考会競技会）

（2）第18回日本デフ陸上競技選手権大会（2021／愛知（予定））（最終選考会）

（3）公益財団法人日本陸上競技連盟 公認競技会

（4）当協会が定める競技会

## 7. 選考基準

下記の各条件中の競技成績については、当該種目に係る成績のみ考慮する。下記の（１）個人種目については数字の若い順に優先する。

### （１）個人種目

- （ア）第17回と第18回の日デフ陸選 2大会の両方で3位入賞以上の成績を収め、第18回日デフ陸選終了時点までに当協会が定める派遣設定標準記録を満たした競技者。
- （イ）第17回と第18回の日デフ陸選のうち1大会3位入賞以上の成績を収め、第18回日デフ陸選終了時点までに当協会が定める派遣設定標準記録を満たした競技者。（※1）
- （ウ）第18回日デフ陸選に正当な理由で出場できなかった（またはできない）が、強化指定選手ランクゴールドの標準記録を突破し、当協会選考委員会から推薦があった競技者。※出場できない理由書を最終選考競技会より以前に当協会に提出が求められる。
- （エ）派遣設定標準記録有効期間内に記録を突破した競技者  
（※1）競技成績については、第18回日デフ陸選（最終選考競技会）の結果を優先する。

### （２）リレー種目

当協会が定める派遣標準記録有効期間終了時点で、編成方針及び選考基準（※2）に則り、強化委員会において選手選考原案を作成し、選考委員会で決定、理事会で承認する事とする。

（※2）個人種目の記録を参考にし、メダル獲得が期待できる基準とする。

## 8. 選考方法

故障等により、大会本番で競技力を発揮できないと判断された場合を除き、上記選考基準に従い下記の方法で選考する。

### （１）個人種目

1. 第18回日デフ陸選終了時点における内定条件（選考基準(1) 1、2）  
第17回、第18回の日デフ陸選2大会3位入賞以上または1大会3位以上の成績を収め、第18回日デフ陸選終了時点までに当協会が定める派遣設定標準記録を満たした競技者については、日デフ陸選の順位の上位順（※1）に3名に達するまで、日本デフ陸選終了時点において内定とし、理事会において決定する。  
（※1）競技成績については、第18回日デフ陸選（最終選考競技会）の結果を優先する。
2. 2021年5月30日（最終選考期日）時点における内定条件（選考基準（1）3、4）  
上記選考によって3名の内定者に達しない個人種目については、2021年5月30日（最終選考期日）時点において、選考基準（1）3、4に従い、3名に達するまでの競技者を内定とし、理事会において決定する。

### （２）リレー種目

当協会が定める派遣標準記録有効期間終了時点で、編成方針及び選考基準（※2）に則り、強化委員会において選手考原案を作成し、選考委員会で決定、理事会で承認する事とする。

（※2）個人種目の記録を参考にし、メダル獲得が期待できる基準とする。

- （３）前記（1）（2）にかかわらず、選考後に辞退等により選考を取り消すべき状況が発生した場合には、その時点において適用すべき決定手続により、必要な選考（既に決定した選考の取り消しも含む）を行うものとする。

## 9. 補足

- （1）代表選手の正式決定は、派遣団体である一般財団法人全日本ろうあ連盟により決定される。
- （2）代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はICSDが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- （3）参加標準記録の有効期間は下記の通り。  
2020年8月1日～2021年5月30日
- （4）代表選手は当協会が定める規程及び誓約事項を遵守するものとする。
- （5）下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
  - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
  - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
  - 3) 当協会が定める規程及び誓約事項を遵守しない場合

- (6) 代表選手は、強化委員会が特に認めた場合を除き、強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加する義務を負うものとする。
- (7) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医科学委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (8) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
- (9) 日本パラリンピック委員会と当協会の派遣方針及び派遣基準人数に満たない場合は、選手を追加することがある。その場合は競技実力に加え強化合宿や協会の事業への参加も選考の参考にすることがある。
- (10) 選考対象における条件として、最終選考競技会より以前にすべての手続きを終えていること。  
※国際ろうスポーツ委員会（オージオグラム）、全日本ろうあ連盟（会員登録、メディカルチェック、その他の書類）、当協会が定める（会員登録、その他）などの手続きがある。
- (11) 第24回夏季デフリンピック競技大会日本代表選手選考にかかった費用については理由を問わず返金しない。

以上

第24回夏季デフリンピック競技大会 陸上競技大会・派遣設定標準記録

種目		
派遣設定標準記録 (男子)		派遣設定標準記録 (女子)
11" 01	100m	12" 60
22" 43	200m	26" 16
49" 10	400m	58" 00
1' 55" 77	800m	2' 19" 76
3' 59" 45	1500m	4' 46" 72
15' 37" 72	5000m	18' 53" 95
33' 05" 18	10000 m	41' 02" 70
15" 41	110mH/100mH	15" 20
55" 32	400mH	64" 22
9' 51" 58	3000m SC	12' 59" 37
1m95	走高跳	1m59
4m15	棒高跳	2m27
6m93	走幅跳	5m32
14m35	三段跳	11m42
14m98	砲丸投	12m74
45m72	円盤投	42m74
52m55	ハンマー投	45m49
58m86	やり投	40m88
4586	十種競技/七種競技	3657
2:35' 00	マラソン	3:30' 00